（様式1）

学校番号	86	学校名	茨城県立古河第三高等学校

令和7年度道徳教育全体計画

諸法規

日本国憲法
教育基本法
教育諸法規
学習指導要領　等

校訓

自立・敬愛・創造

学校の教育目標

「自立・敬愛・創造」の校訓のもと、一人一人の個性と資質・能力の伸長を図り、広く社会に貢献することができる人材を育成する。

生徒の実態

ほぼ全員が上級学校への進学を希望している。
基本的生活習慣はおおむね確立されており、規範意識も高い。
まじめで勤勉・穏やかで優しい心持ちの生徒が多い。
人前で発表を行うのに必要なスキルが身についている生徒も多い。

保護者の願い

四年制大学進学、特に国公立や首都圏私立大学への進学を希望している。

道徳教育重点目標

1　多様性を認める
2　自主性・自立心を育てる
3　社会性を身につける

地域の実態

茨城県の最西端に位置し、首都圏のベッドタウンとして、生活圏や視座は隣接県に向いている。

各教科・科目

国語	自立・独立・思いやり 広い心、謙虚な心 伝統文化、郷土愛
地歴	社会連帯、責任感 日本人としての自覚 国際理解
数学	論理的思考 数学的判断 公平、公正
理科	自然愛護 生命尊重 実験・観察への好奇心
保体	生きる喜び くじけない心 集団生活の向上
芸術	生きる喜び 豊かな教養 伝統文化 人間理解
外国語	異文化理解 母国理解 他との関わり 国際的な視点
家庭	自立 共生 家族愛 生命尊重
情報	情報活用能力 人間のあり方生き方 情報社会への適応
総合的な探究の時間	自己と関連づけられた課題 社会との接続 横断的な学び
専門	

特別活動

ホームルーム活動

望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団や社会の一員としてよりよい生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己を生かす能力を養う。

学級活動：様々な活動を通して、人間として望ましい在り方や、他者と関わることの大切さを実感させ、道徳教育の充実を図る。
生徒会活動：生徒会役員が中心となり、学校行事やボランティア活動の取り組みを通して、愛校心や郷土愛、主体的な態度や協働の精神を養う。
部活動：部活動を通して、基本的生活習慣を確立し、協 調性や忍耐力を養う。

公民科

公共

社会的な見方・考え方を働かせ、現代の諸問題を追及したり解決する活動を通して、広い視野に立ち、社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

自立した主体となるために、青年期に何を考え行動するか、個人を尊重して対話を通して他者を理解することを学ぶ。
持続可能な地域・社会づくりに向けた役割を担う、公共の精神をもった自立した主体となることに向けて、幸福、正義、公正などに着目して、現代の諸問題を探求する活動
を行う。

生徒指導

基本的生活習慣の確立は生徒指導全体の基本となる重要目標であり、本校生徒はおおむね達成できている。しかし、個々の成熟度を見ると、「主体的な行動」や「コミュニケーションの効果的な取り方」における改善点など、今後に向けた課題も多い。生徒の「自立・自律」に向け、更なる飛躍を促したい。
交通安全とともに、危機管理意識の高揚と命の尊重を啓発し続けることが重要である。

家庭との連携

全体的にはPTA総会で決議されたことを基本とし、PTA活動を中心に連携を図る。PTA活動や、学級・学年懇談会、三社面談等を通して、相互の理解を深める。
各担任においては、欠席連絡に対する保護者への確認をはじめ、必要に応じて家庭訪問等を行うなど、家庭との連携を密にする。
学校のHP等で学校行事を公開し、地域・保護者の理解を得る。

地域社会との連携

ボランティア活動、文化祭、学校公開などを通して、地域に開かれた学校を積極的にPRしていく。キャリアガイダンスやゲストティーチャー講話で、卒業生や地域社会で活躍する方々の話を聴き、「社会参画、公共の精神」を養う。
また、総合探究の活動として自主的に地域・社会と繋がりを持ち、学校以外の社会と関わる機会を積極的に増やす。